令和６年３月１日

令和５年度卒業式式辞

六間川の桜の蕾も膨らみ始め、春の息吹が感じられる季節となりました。
この佳き日に、ＰＴＡ会長の伏見泰典様を始め、御来賓の方々そして多数の保護者の皆様をお迎えして、第 72 回静岡県立藤枝西高等学校卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生はもとより、教職員にとりましても大きな喜びであります。
ただ今、卒業証書を授与しました百五十五名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとう。
皆さんは、入学以来、たゆまぬ努力を積み重ね、本校所定の教育課程を修了し、めでたく今日の日を迎えました。保護者の皆様におかれましても、お子様の健やかな成長を願い、支えてこられ、立派に成長された姿に感慨も一入のことと存じます。
教職員一同、心よりお慶びを申し上げます。

本年一月一日に、石川県能登半島を大地震が襲い、その地域に住む人たちの日常を一変させました。被害に遭われた方々の辛苦を察すると胸が苦しく、心よりお悔やみを申し上げるとともに、一日も早い復興を願うばかりです。日々に感謝し、一日一日を大切に生きよう、との思いを、改めて強くしたところです。

先日、世界野球で日本代表監督も務めた栗山監督のお話を聴く機会がありました。栗山監督は、「自然に一歩を踏みだせるよう、まずはちゃんと準備する。そのうえで『どうしようか』と迷っているのであれば、思い切って歩み出す。後から『やっておけばよかった』と後悔するより、やって失敗して後悔したほうが絶対いい」と強く語っており、まさにその通りだな、と感じました。

栗山監督は、本年７月から新一万円札の顔となる渋沢栄一氏の著書『論語と算盤』を擦り切れるほど読んだ、とも言っています。『論語と算盤』は、武士道の真髄について触れており、武士道は五つの資質である、としています。『世の中で共通の正しさ』である正義、『心が正直なこと』である廉直、『弱い者を助けること』の義侠(ぎきょう)、『困難に屈せずやり通すこと』の敢為(かんい)、『礼儀正しさ』である礼譲の五つです。渋沢氏は、困難がもたらす効用を繰り返し説き、苦しい中で地道な努力を重ねることが自らの成長や成功を得るために必要、と述べています。ここでいう武士道の精神である正義、廉直、義侠、敢為、礼譲、これらはいずれも、重要な資質です。こういった考えも選手の育成に繋げたのだろうと感じました。

皆さんが藤枝西高校で過ごした３年間、世界を見渡すとどうでしょうか。
世界情勢は大変不安定で、長期にわたりロシアによるウクライナ侵攻が続くなど、国内外の社会・経済は大きな影響を受けています。世界秩序が正義や廉直により、保たれているとは、認めにくい状況といわざるを得ません。
弱い者を助けることはできているでしょうか。世界の人々が、手と手を握り合うことすらできず、痛ましい報道に触れるたび、自らの無力さを痛感し、世界中の人がこれらの資質を備えるよう努めていれば異なる世界もあったのでは、と思います。
先行きが不透明で予測困難な時代に、未来へと羽ばたく皆さんには、これらの資質とともに、これから述べる三つのことを意識してほしいと思います。

一つ目です。何事にも前向きな思考・プラス思考を持ってください。様々な事に対して、否定的、悲観的に捉えるのでなく、正確かつ客観的に理解し、前向きに考えて

みることです。異なる意見や異なる価値観は、自分を成長させてくれる良い機会です。前向きな姿勢を持ち続けることで、新たなアイデアが生まれ、解決に至ることもあります。あなた自身のしなやかさ、強さを育てることにもつながります。

二つ目です。想像力を養い、分析する力を備えてください。2024 年は、ＡＩ技術が社会で本格的に使われる元年とも言われています。溢れる情報から、正しい情報を掴み、分析、処理できる能力を持つことが求められます。今ではインターネットも、当たり前ですが、社会の大きな変化の中では、常に、自らが主体となり、道具として使う側にならねばなりません。ＡＩは、過去データからの選別に過ぎず、人間が備えている、例えば、『未来を信じる力』など持っていません。人しか備えることができない資質を育てるために、本を読んだり、芸術に触れたり、スポーツをしたりして、感性を磨き、想像力を養ってください。

三つ目です。学び続ける努力をしてください。
いかなる路に進むにせよ、何事にも貪欲にチャレンジして、学び続ける努力をすることです。失敗した、と思ってもそれは成長の過程です。学び続ける姿勢こそ、あなたを成長させ、力になります。

皆さんには、これら３つを意識して、混沌とした社会を、しなやかに、たくましく切り拓いていってほしいと切に願っております。

さて、学校生活を振り返ってみると、今年度は４年ぶりに一般の方にも御来場いただき藤蔭祭を行うことが出来ました。生徒会長、企画委員長を始め、一人一人が役割を果たし、成功に導いてくれました。思うようにいかなかったこともあったでしょうが、必死に前を向く表情は輝いていました。クラス展、日本文化部、有志発表、ウインド演奏、全てが見事で、皆の取り組む姿に感動しました。体育祭でも、元気いっぱい躍動する姿は、美しく、頼もしく、青春を謳歌する皆を羨ましくも思ったものです。部活動でも最上級生の背中を見て後輩たちは育ってきました。

校訓『自律・敬愛』のうち『自律』は、人に頼る力でもある、と私は考えています。学校生活を通して、出来た頼れる仲間、友は、ヘルプが出来る、生涯大切な存在です。友を大切に、頼ってください。
そして、常に『敬愛』の精神を心に留め、温かい心、思いやりの心を持ち、周りの人に接してください。優しさは本物の強さとなり、あなたの魅力となります。

結びにあたり、卒業生の皆さん、あらためまして御卒業おめでとうございます。
私たち教職員は、異なる路を歩む皆さんが、心身ともに健康で、前向きにチャレンジする姿を、いつまでも、そして、どこにいても応援しています。
保護者の皆様、本日はお子様の御卒業、誠におめでとうございます。今日まで本校にお寄せいただきました御支援、御協力に深く感謝を申し上げます。

卒業生の皆さんの前途に、幸多からんことを祈念いたしまして式辞といたします。

令和６年３月１日　静岡県立藤枝西高等学校長　竹村　祐